

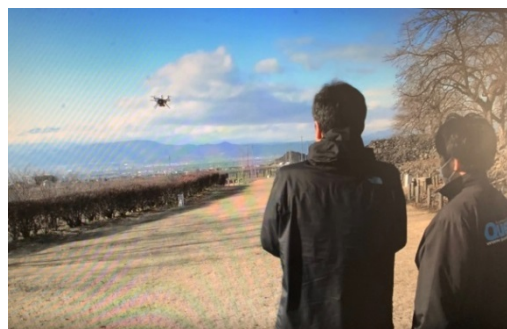
### 平30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	須坂守り隊見せ隊広め隊事業
事業主体 (連絡先)	須坂市 須坂市役所総務部政策推進課 TEL026-248-9017
事業区分	(4)安全・安心な地域づくりに関する事業 (8)その他地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	1,089,403 円 (うち支援金: 771,000 円)

#### 事業内容

住民協働による PR 用短編動画の制作

- 全国的に注目されるような特徴ある PR 動画や四季折々の動画(短編動画)を空撮も含め制作。
- 制作にあたっては、動画制作に興味のある方などにも協力を依頼、募集し、市と住民の協働で行うこととし、市が撮影した空撮動画に加え、市民が撮った写真等も PR 動画に盛り込み編集。



【八丁鎧塚古墳での撮影風景】

#### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ①須坂市観光地を中心に臥竜公園公園や八丁鎧塚古墳、百々川緑地公園の短編動画(1分程度)を3本制作した。それぞれの観光地の知名度向上が図られた。
- ②須坂守り隊見せ隊広め隊による SNS 等の拡散により、広く周知が図られた。
- ③撮影時やイベント等に着用し、ブルゾンへの目線が集まることから、須坂市の知名度を発信することができた。
- ④動画制作や写真の出品を通して、住民の地域愛の醸成も図ることができた。

#### 【目標・ねらい】

- ①住民協働の PR 用動画の制作
- ②SNS 等による情報の拡散
- ③PR ユニフォームの制作
- ④住民の地域愛の醸成

#### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

- ・須坂守り隊見せ隊広め隊の会員数を拡大し、SNS による動画を更に拡散していく。
- ・防災上の危険箇所等を撮影し、区の会合や防災講演会等で上映する。
- ・小中学校通学区を撮影し、小中学校に配布し、防災教育に活用する。

#### ※自己評価 【 C 】

【理由】  
想像以上に難しい操作で、撮影予定日に強い風が吹いたり雨や雪などで撮影日が延期されるなど、計画通りの実施が困難であった。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。  
 「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた  
 「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある

(別記様式第12号) (第3の8関係)

### 平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	新公共交通システム構築事業
事業主体 (連絡先)	高山村 (村民生活課 福祉係 026-242-1200)
事業区分	(4) 安全・安心な地域づくりに関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	3,479,760円 (うち支援金: 2,783,000円)

#### 事業内容

##### 新公共交通パンフレット等作成

- ・利用ガイド A4版カラー、両面 8ページ
- ・時刻表 A2版カラー、片面 (各3,000部)

##### 支線交通タクシー停留所制作

- ・停留所 新規分(支柱・土台含) 20基
- ・ 〃 丸型表示板のみ 62枚

##### 支線交通車両1台ラッピング

- ・カッティングシート制作(フロント・リア・両側面)
- ・印刷輪郭加工費 ・ラッピング施工費
- ・デザイン起案



【ラッピング車両】

#### 【目標・ねらい】

- ①利用者の移動特性に応じた利用しやすい運行ダイヤ等に見直し
- ②ICカード決済システムを導入するなど利便性の向上を図る
- ③公共交通に関する情報(パンフレット等)を作成し周知する

#### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

高山村では、村内の公共交通存続と利便性向上を図るため、平成30年10月に村内公共交通を一体的に再編した。

この再編では、計画段階から住民に積極的に参画いただき、実際の利用を想定し、バスのダイヤや乗合タクシー停留所の設置場所等の意見や要望をお聴きし、「地域発元気づくり支援金」活用するなかで、より村民(特に高齢者や学生)の意向に沿った村内各地の移動がしやすい公共交通ネットワークを構築した。

#### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

今後の社会情勢や超高齢化社会を踏まえ財源的な制約等を考慮しつつ、効率的で質の高い地域公共交通の実現に向け、社会環境や地域住民のニーズの変化や施策の進捗状況に対応しつつ、適宜見直しを図りながら進めていく。

#### ※自己評価【 A 】

【理由】再編にあたり住民説明会を開催し、可能な限り意見や要望をお聴きすることができた。

再編後4カ月経過したが全体的な評価は難しい。今のところ大きな混乱なく来ており、ICカードの販売や、乗合タクシーの利用者数は伸びつつある。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある

## 平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	除雪機貸与事業
事業主体 (連絡先)	飯綱町(建設水道課) 026-253-4766
事業区分	(1) 地域協働の推進に関する事業
事業タイプ	ハード
総事業費	3,350,808円(うち支援金:2,233,000円)

### 事業内容

町が小型除雪機を地域に貸与し、地域住民が自ら協働して、町の除雪機が入れない狭小路の除雪を行う。



【除雪機貸与事業】

### 【目標・ねらい】

- ①新たな地域資源の掘り起こし
- ②飯綱町の知名度向上
- ③愛着の持てるまちづくりの推進
- ④遊休荒廃地の解消

### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

降積雪による地域交通の支障を早期解消できるとともに大雪等による災害時においても速やかな交通確保が図られ、地域生活の安全度が向上した。  
また、冬季早朝の降雪による除雪も短時間で効率的な作業が可能となり、作業員の負担の軽減に繋がった。

### ※自己評価【B】

#### 【理由】

住民自ら除雪することにより、必要な箇所を的確に除雪できるほか、地域の現況を把握することで、今後のまちづくりに寄与できた。

### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

他の地元区(組)長からも地域づくり計画により要望が提出されているため、今後も計画的に除雪機を導入し、地域協働による除雪を推進したい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある